















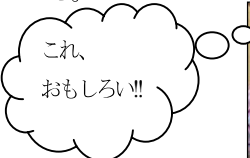

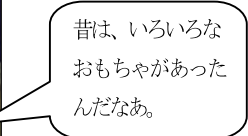


日本の伝統に触れる

学年	第6学年	教科等	総合的な学習																		
単元名	触れよう！親しもう！「日本の伝統」																				
実践の概要	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化を学び、体験することにより、日本の歴史や日本人の知恵について考えることができる。 ・自分たちで課題を設定し、追求し、まとめ、広げるという学習過程を通して、生涯にわたる生きる力を養うことができる。 <p>2. 内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">時</th> <th style="width: 55%;">学習内容</th> <th style="width: 40%;">留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 2</td> <td>○日本の伝統には、どんなものがあるのか調べる。 ○日本の伝統の中から、調べ深めたいものを決める。</td> <td>・インターネット検索などを利用して、興味を持たせる。 ・自分の興味にもとづいて、調べてみたいというものを決めさせる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 4 5</td> <td>○グループごと（興味が一致する人どうし）に調べ学習を進める。 ○調べたことをクラスみんなに発表し、紹介する。</td> <td>・本やインターネットなどを利用して進めさせる。 ・グループごとに発表させる。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">包む・結ぶ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">空手</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">礼儀作法</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">お茶</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">伝統工芸</div> </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6 7 8</td> <td>○“日本の伝統”に触れよう！体験してみよう！ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝国の杜で調べよう！ ・学芸員の方に教えていただきよう！ </div> <p>(1) 伝国の杜で調べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 伝国の杜で体験する。(包む・結ぶ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「(包む・結ぶ)があったよ。」 「礼儀作法の本があったよ。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「上手にできたぞ。」 「こんなの初めて。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「笹まき包みは難しいなあ。」</p> </div> </td> <td>・できるだけ本物に触れさせるように場づくりを工夫する。(各班のテーマについて、全員が触れられるようにする。) ・図書室にはない専門書を探させる。 ・班のテーマを追求できなければ、他の班のテーマについて追求させる。 ・全員で「風呂敷包み」「笹まき包み」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9 10 11</td> <td>○学んだことをまとめる。 ・新聞作り、パンフレット作り、ホームページ作り、大判用紙 ○これからの総合的な学習について考える。</td> <td>・様々な方法で工夫してまとめられるようにする。 ・日本の伝統についても視野に入れるようにする。(エコロジー、知恵)</td> </tr> </tbody> </table>			時	学習内容	留意点	1 2	○日本の伝統には、どんなものがあるのか調べる。 ○日本の伝統の中から、調べ深めたいものを決める。	・インターネット検索などを利用して、興味を持たせる。 ・自分の興味にもとづいて、調べてみたいというものを決めさせる。	3 4 5	○グループごと（興味が一致する人どうし）に調べ学習を進める。 ○調べたことをクラスみんなに発表し、紹介する。	・本やインターネットなどを利用して進めさせる。 ・グループごとに発表させる。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">包む・結ぶ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">空手</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">礼儀作法</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">お茶</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">伝統工芸</div> </div>			6 7 8	○“日本の伝統”に触れよう！体験してみよう！ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝国の杜で調べよう！ ・学芸員の方に教えていただきよう！ </div> <p>(1) 伝国の杜で調べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 伝国の杜で体験する。(包む・結ぶ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「(包む・結ぶ)があったよ。」 「礼儀作法の本があったよ。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「上手にできたぞ。」 「こんなの初めて。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「笹まき包みは難しいなあ。」</p> </div>	・できるだけ本物に触れさせるように場づくりを工夫する。(各班のテーマについて、全員が触れられるようにする。) ・図書室にはない専門書を探させる。 ・班のテーマを追求できなければ、他の班のテーマについて追求させる。 ・全員で「風呂敷包み」「笹まき包み」	9 10 11	○学んだことをまとめる。 ・新聞作り、パンフレット作り、ホームページ作り、大判用紙 ○これからの総合的な学習について考える。	・様々な方法で工夫してまとめられるようにする。 ・日本の伝統についても視野に入れるようにする。(エコロジー、知恵)
	時	学習内容	留意点																		
	1 2	○日本の伝統には、どんなものがあるのか調べる。 ○日本の伝統の中から、調べ深めたいものを決める。	・インターネット検索などを利用して、興味を持たせる。 ・自分の興味にもとづいて、調べてみたいというものを決めさせる。																		
	3 4 5	○グループごと（興味が一致する人どうし）に調べ学習を進める。 ○調べたことをクラスみんなに発表し、紹介する。	・本やインターネットなどを利用して進めさせる。 ・グループごとに発表させる。																		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">包む・結ぶ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">空手</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">礼儀作法</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">お茶</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">伝統工芸</div> </div>																				
	6 7 8	○“日本の伝統”に触れよう！体験してみよう！ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝国の杜で調べよう！ ・学芸員の方に教えていただきよう！ </div> <p>(1) 伝国の杜で調べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 伝国の杜で体験する。(包む・結ぶ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「(包む・結ぶ)があったよ。」 「礼儀作法の本があったよ。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「上手にできたぞ。」 「こんなの初めて。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> <p>「笹まき包みは難しいなあ。」</p> </div>	・できるだけ本物に触れさせるように場づくりを工夫する。(各班のテーマについて、全員が触れられるようにする。) ・図書室にはない専門書を探させる。 ・班のテーマを追求できなければ、他の班のテーマについて追求させる。 ・全員で「風呂敷包み」「笹まき包み」																		
	9 10 11	○学んだことをまとめる。 ・新聞作り、パンフレット作り、ホームページ作り、大判用紙 ○これからの総合的な学習について考える。	・様々な方法で工夫してまとめられるようにする。 ・日本の伝統についても視野に入れるようにする。(エコロジー、知恵)																		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員と教育スタッフの指導のもと、日本の伝統である「包む、結ぶ」について、楽しみながら貴重な体験ができた。 ・学校の図書室にはない専門書をもとに調べ学習を進めることができた。 																			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるテーマについての資料がない場合があるので、クラス全員で訪問するときには、目的を焦点化していかなければならない。 																			

米沢の昔むかし・・・!!
 ～ 米沢のなつかしい品々にわき上がる歓声 ～

学年	3・4年	教科	社会
単元名	「きょう土に伝わるねがい」 (2) 昔の道具とくらし(本時5・6/10時間)		
実 践 の 概 要	<p>< 単元目標 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔はどのような道具を使っていたのか、またくらしはどのように変わってきたのかを、理解することができる。 昔のくらしを知ること、郷土の歴史にも目を向け、郷土の人々の知恵や功績を知ることができる。 <p>< 単元計画 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 資料をもとに、昔と今の台所の様子を比べ、昔のくらしと道具について調べようとする意欲を持ち、学習課題をつかむ。 資料をもとに、どんな道具があったのかを調べ、それらの道具の使い道を時代区分毎に分類する。 学芸員から昔の道具について説明を聞き、実際にふれてみて、昔のくらしの様子やくらしぶりの変化について考える。 <p style="text-align: right;">【出前授業:学芸員の話】</p> <p>《本時の目標》 昔の道具について説明を聞き、実際にふれてみることで、昔のくらしの様子や、くらしぶりの変化について、理解を深めることができる。</p> <p>《本時の学習内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 昔の道具(生活用品、玩具)について、学芸員の説明を聞く。 <div style="text-align: right;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> ② 実際に昔の道具にふれながら、昔のくらしの様子や、くらしの変化について考え学習カードにまとめる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> ④ 身近な人から聞いた昔のくらし・道具についてまとめ、その結果を交流する。 ⑤ 昔の郷土の様子を知り、身近な建物や行事の中に息づくむかしの人々の知恵や努力、その功績を知る。 		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふだんはなかなか目にするのでできない昔の道具にふれることで、興味を持って学習に取り組むことができた。また、その都度学芸員に質問しながら道具を見ることができ、子どもなりの小さな疑問をすぐ解決し、納得しながら学習を進めることができた。 ○ 学芸員から、その道具の由来や時代背景なども聞くことができ、昔のくらしを理解する手助けとなった。 ○ 今の道具と比べながら見ることによって、昔の道具の中にある知恵に気づくことができた。 ○ その道具の由来(ex.市内のお年寄りが大切にしまっておいたものの寄贈品)を聞くことで、その道具自体もまた昔のくらしも身近に感じる事ができ、学習にリアリティーがうまれた。 ○ 専門的な知識を持つ学芸員と交流することができたことで、一つのことを深く詳しく根気強く学ぶことのすばらしさに気づくことができ、人間関係の広がりという点で、学習内容以上の学習効果が得られた。 		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前の打ち合わせの時間がじっくりとれず、学校に持ってきていただく細かな道具の種類については学芸員の方にお任せになってしまった。 		

学 年	中学 2、3 年生	教科など	美術（鑑賞）
単元名	鑑賞 見えない世界を描く		作品 浜田浜雄「タイムキーパー」
	<p>《ねらい》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. じっくり鑑賞する。 2. 対話、交流のなかで、新たな価値、多様な見方に気付く。 3. 作者の生きた時代、作品に流れる思想を知る。 <p><流れ></p> <p>1時間目(実物の「タイムキーパー」を鑑賞)</p> <p>・・・作品はすでに展示しておく。授業の前に作品を見ての印象を自由にホワイトボードに記入していく。</p> <p>第一印象の発表</p> <p>作品のコピーに書き込みしながら観察</p> <p>自分の考え(作品の解釈)を友達と意見交換</p> <p>タイトルに込められた作者の思いや意図を想像</p> <p>作者と作者の生きた時代について学芸員の話聞く(PP使用) 米沢出身 シュルレアリスム 戦前の時代背景</p> <p>授業についての感想まとめ</p> <div style="text-align: center;"> <p>↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">話を聞く前とあとで印象 の変化・発見があったか</div> <p>↓</p> </div>		
準備物	作品・作品図版コピー・PPデータ		

学 年	中学 1 年生 (または小学 6 年生)	教科など	総合的な学習 (小学校の場合は社会か総合)
単元名	「私たちのまち・米沢の『洛中洛外図』をつくろう」～米沢学～		
活 用 例 の 概 要	<p><ねらい></p> <p>『洛中洛外図』からヒントを得て、京都ではなく自分たちの住んでいる米沢の洛中洛外図を共同制作することで、米沢の特産品や四季の行事(祭りなど)、観光名所について理解を深め、同時に我が郷土の宝「洛中洛外図」をより身近なものとしてとらえる。</p> <p><流れ></p> <p>1時間目(博物館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館の協力を得て、実物大「洛中洛外図」の「写真版」を出していただいて、一人ひとりの生徒をその前に立たせ、京の街を見渡す体験をさせる。京の町並みや名所、四季、祭り、人々の生活がえがかれていることを理解し、同様に米沢の町を描いていくことのイメージをもつ。 <p>2～9時間目(学校など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米沢の『洛中洛外図』を自分たちの手で制作する。米沢の特産品や四季の行事、祭りなどについての調べ学習の後、分担し、制作する。 ・ 米沢のどこを中心に置き、東西南北を春夏秋冬のどこに当てはめるか、祭りの場所季節などで決めていく。 <p>10時間目(博物館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した米沢の「洛中洛外図」を博物館に持ち込み、本物である京都の「洛中洛外図」と比べてみる。 		

学 年	中学 1～3 年生	教科など	美術 (鑑賞分野)
単元名	後藤克芳 ～アートするところ～		
活 用 例 の 概 要	<p><ねらい></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 米沢出身の作家後藤克芳の作品を鑑賞し、その作品に親しむと共に地域にある文化財への関心を高める。 ② 後藤克芳の物づくりに対する情熱を知り、「日常の中に感動を発見する心」について考えるきっかけを持つ。 ③ 作品の鑑賞やゲストティーチャーの話を聞き、美術は自分の視野を広げるきっかけとなることに気づき、アートが持つ力について理解を深める。 <p><流れ></p> <p>博物館から実物作品を4点持参してもらって出前授業として展開 ゲストティーチャー：博物館学芸員、後藤克芳夫人 2 クラス合同で2 時間続きの授業を行う。</p> <p>PC 画像で作品を見る 実物を見る(実物と対面したときの驚きを大切に) 材料について知る (素材感を出すために丁寧につくりこんでいることに気づかせる) 作家について知る(作家にとって素材は木でなければならなかった) 他の代表作を PC 画面で見る(共通テーマの発見) テーマとして取り扱っている事柄について考える。 (特別なものではなく、日常にあるもの) 後藤が撮影してスナップ写真を見る(作者の日常の視線に気づかせる) 作品の大きさについて考える(作品の拡大し、生活の中にあるアートを表現した作者の視点) 感想 実物鑑賞(作品のエピソード、制作姿勢などをゲストからうかがう) 1つのテーマ 自然破壊 人間のエゴ ゲストの経験をうかがう(NY での9. 11の経験、アートするところの大切さ) 感想</p>		